

## 請願第99号

日本政府に沖縄南部戦没者遺骨混じり土砂の基地建設埋立て等への使用撤回を求める意見書に関する請願

### 1 要 旨

日本政府に沖縄南部戦没者遺骨混じり土砂の基地建設埋立て等への使用撤回を求める意見書を議決提出すること。

### 2 理 由

悲惨を極めた沖縄戦から 77 年。とりわけ南部の激しい戦闘では、軍人のみならず多くの民間人とりわけ幼い子どもたちまでもが犠牲になり、遺骨となってその南部の土に眠っている。その遺骨混じりの土砂を、あろうことか基地建設の埋立てに使用するなどは人として、日本人として、あまりにも悲しくむごい仕打ちと言わざるを得ない。

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表具志堅隆松さんより全国の自治体に発せられた、日本政府に戦没者遺骨混じり土砂使用撤回を求める意見書を、との願いは、多くの自治体を意見書決議へと動かし、2022 年 11 月 2 日現在、全国で 226 自治体が決議採択し、本県においても、越前市議会が昨年 9 月定例会において決議採択して意見書提出を果たした。

その越前市議会意見書決議採択のきっかけともなった、市内在住の湯本多美子さん（84 歳）は、今年 8 月 14 日福井新聞掲載記事の中でこう述べている。「沖縄の土には、父をはじめ、亡くなった日本人や米国人の骨や血がしみ込んでいる。戦没者に二度も犠牲を強いることになる。そんな権利は誰にもない」と。

沖縄戦最後の激戦地。糸満市摩文仁の丘に建つ福井県出身の犠牲者を祭る福井之塔。近くの石碑に刻まれた、沖縄戦で亡くなった 1184 柱の中の父君青木武夫さんの名前に触れた途端、涙が止まらなくなった湯本さんの深い悲しみに思いを致すとき、請願者もまた涙を禁じ得ない。

辺野古新基地建設の埋立てに戦没者遺骨の混じる土砂を使用しようとする日本政府の愚行が今まさに始まらんとしているこのとき、かかる愚行に強く異を唱えられるのは、日本国を支える多くの自治体の意見であると確信している。

願わくは、日本国政府が誤った判断を下した場合に、毅然と異を唱えることができる自治体の住民であることに誇りを持たせていただくことを願いつつ、日本政府への意見書案を添えて請願する。

### 3 提 出 者

具志堅隆松さんの活動に賛同する福井の会 代表 酒田雅人

### 4 紹 介 議 員

野田哲生

### 5 受 理 年 月 日

令和 4 年 11 月 28 日